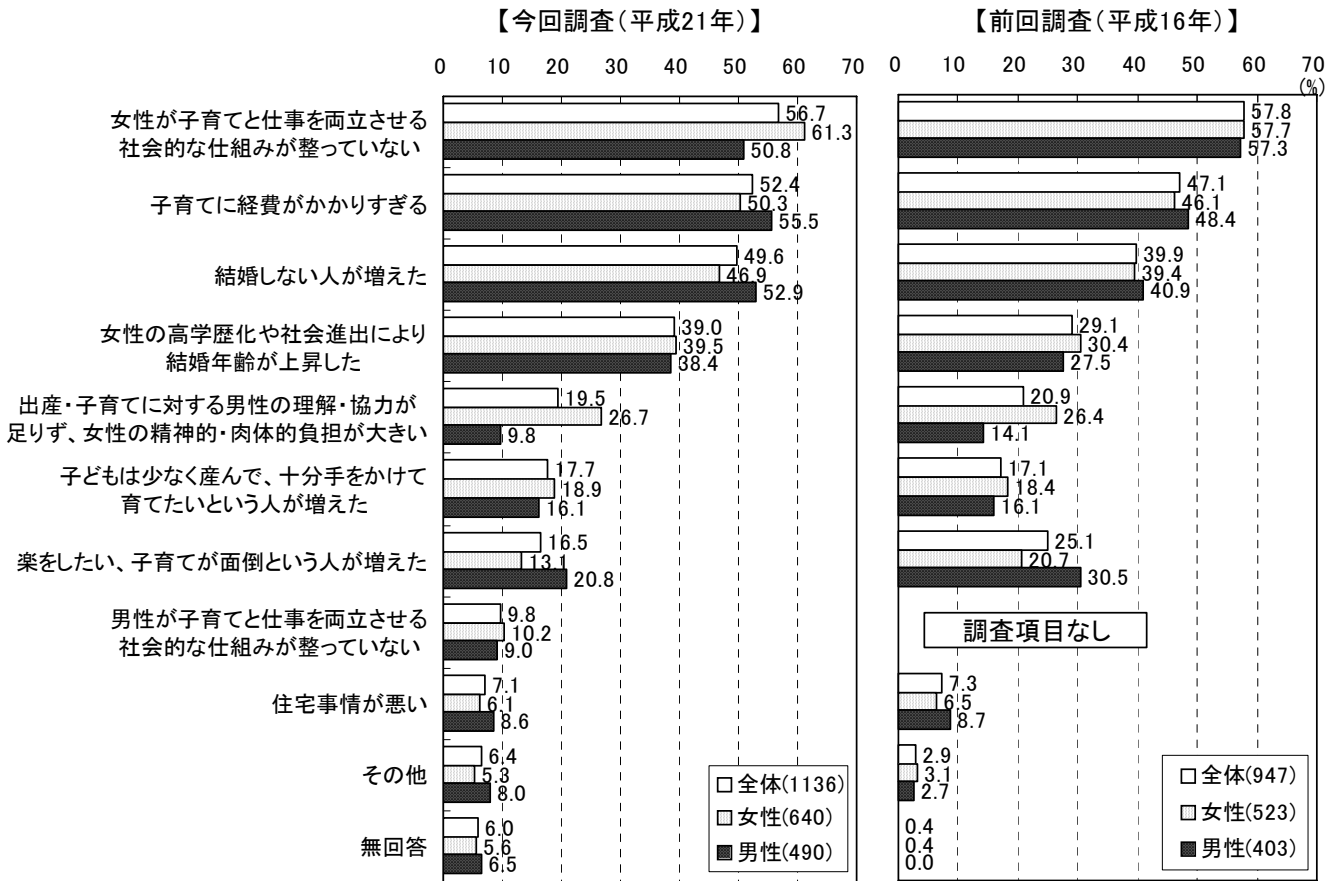


8. 少子・高齢化

(1) 出生率低下の原因

問1 4. 出生率が低下している原因は何だと思いますか。番号三つに○をつけてください。



出生率が低下している原因としては、女性は『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』(61.3%)と回答している割合が最も多く、次いで『子育てに経費がかかりすぎる』(50.3%)、『結婚しない人が増えた』(45.9%)となっている。

男性は『子育てに経費がかかりすぎる』(55.5%)が最も多く、次いで『結婚しない人が増えた』(52.9%)、『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』(50.8%)となっている。

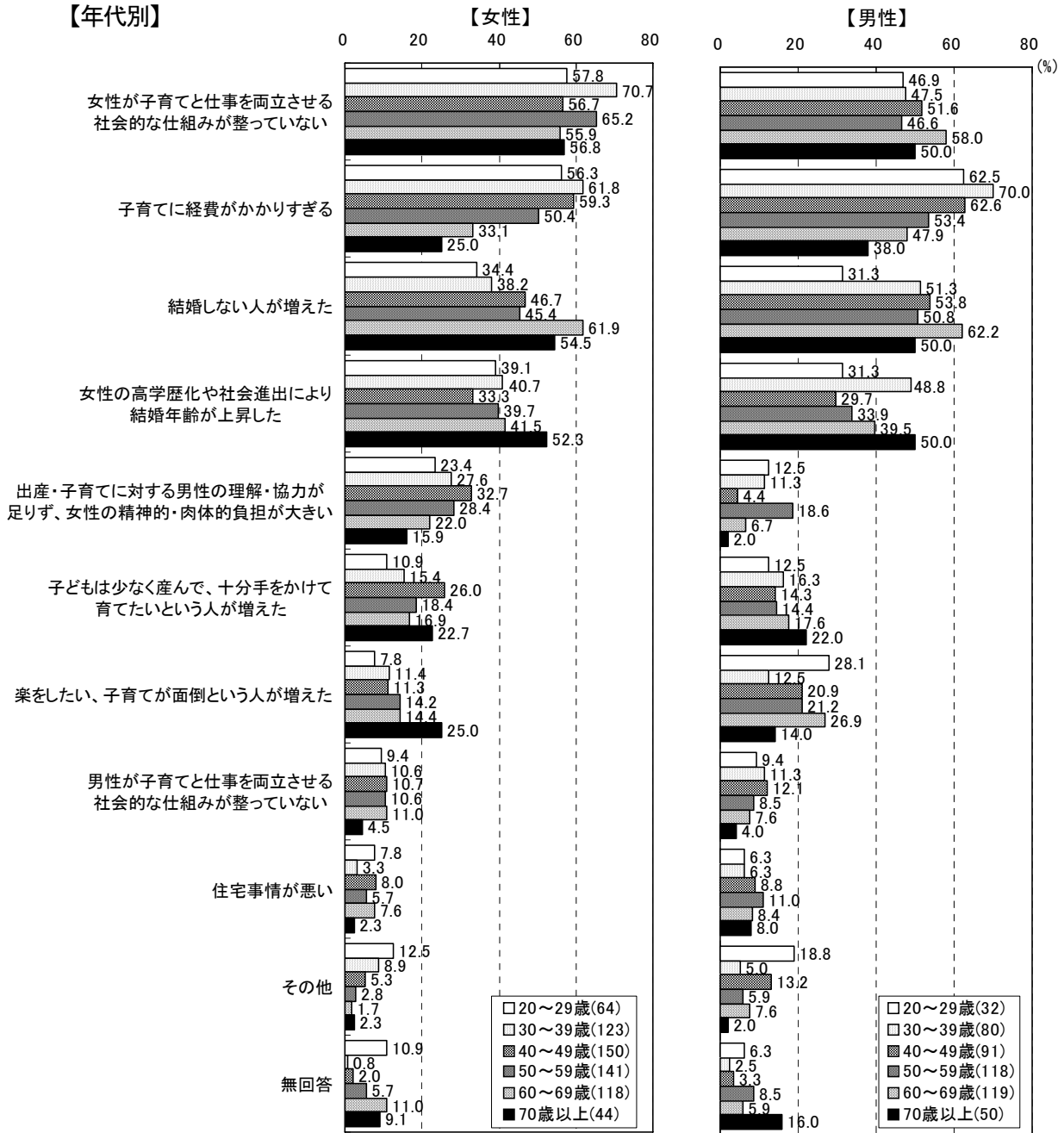
また、男女差がみられるものとして、『出産・子育てに対する男性の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい』(女性26.7%、男性9.8%)では、男性より女性の方が16.9ポイント多く、『楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた』(女性13.1%、男性20.8%)では、女性より男性の方が7.7ポイント多くなっている。

【前回調査(平成16年)との比較】

平成16年に実施した前回調査と比較すると、『子育てに経費がかかりすぎる』『結婚しない人が増えた』『女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した』は前回より割合が高くなっている。

※ 前回調査では、「女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない」が「仕事と子育てを両立させる社会的な仕組み(雇用条件・保育等)が整っていない」となっている。

【年代別】



『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』を年代別にみると、女性は30代(70.7%)が、男性では60代(58.0%)が最も多い。

『子育てに経費がかかりすぎる』は、男女とも30代(女性61.8%、男性70.7%)が最も多く、次いで40代(女性59.3%、男性62.6%)である。

『結婚しない人が増えた』は、男女とも60代(女性61.9%、男性62.2%)が最も多い。

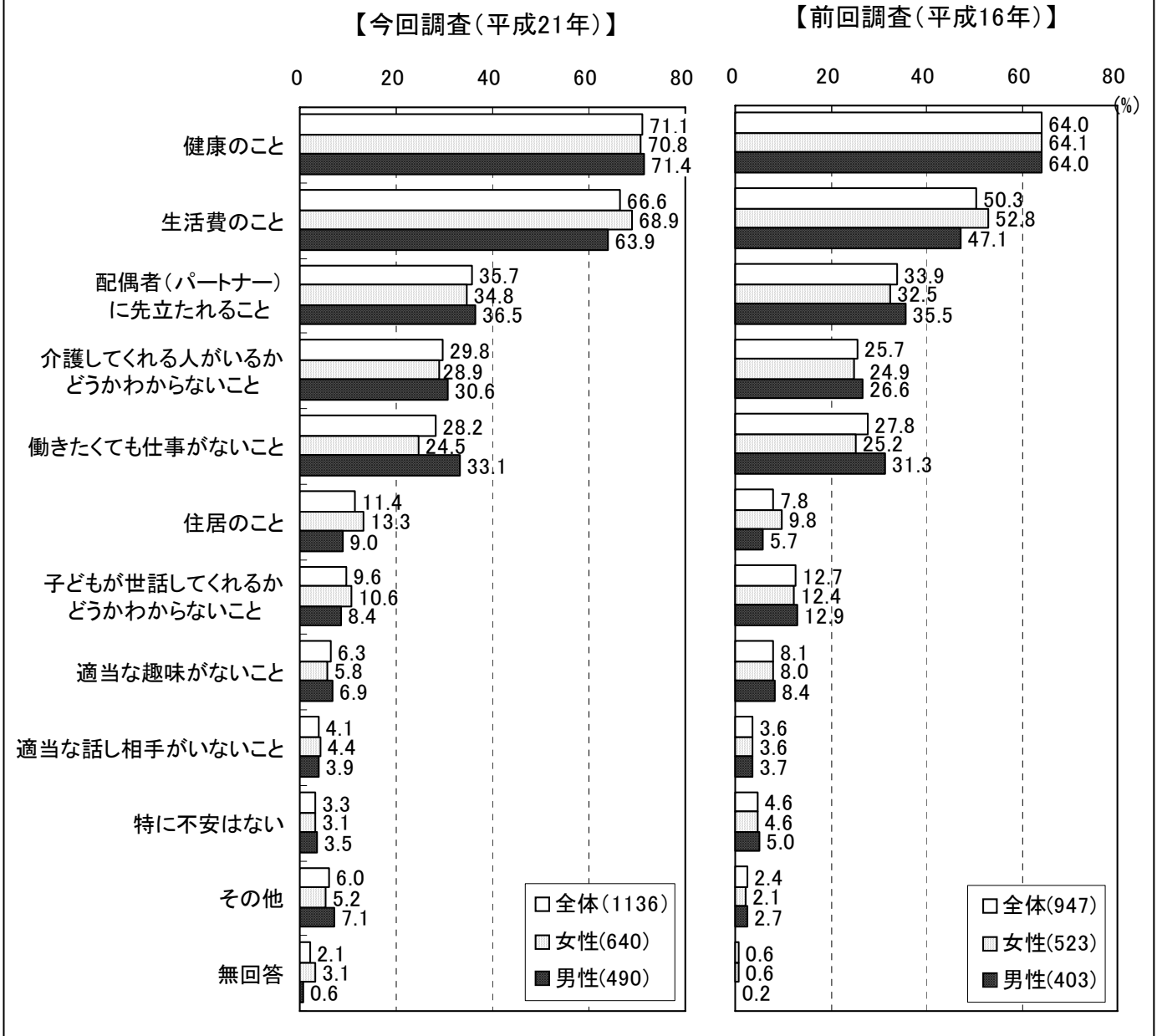
『女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した』は、男女とも70代以上(女性52.3%、男性50.0%)が最も多い。

『出産・子育てに対する男性の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい』は、すべての年代で女性が男性を上回っており、40代での女性(32.7%)と男性(4.4%)の差は28.3ポイントと最も大きい。

『楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた』は、女性では年齢が高くなるにつれ増える傾向にあるが、男性では20代(28.1%)が最も多く、女性(7.8%)との差は20.3ポイントと大きい。また、70代以上を除くすべての年代において、男性が女性を上回っている。

(2) 老後についての不安感

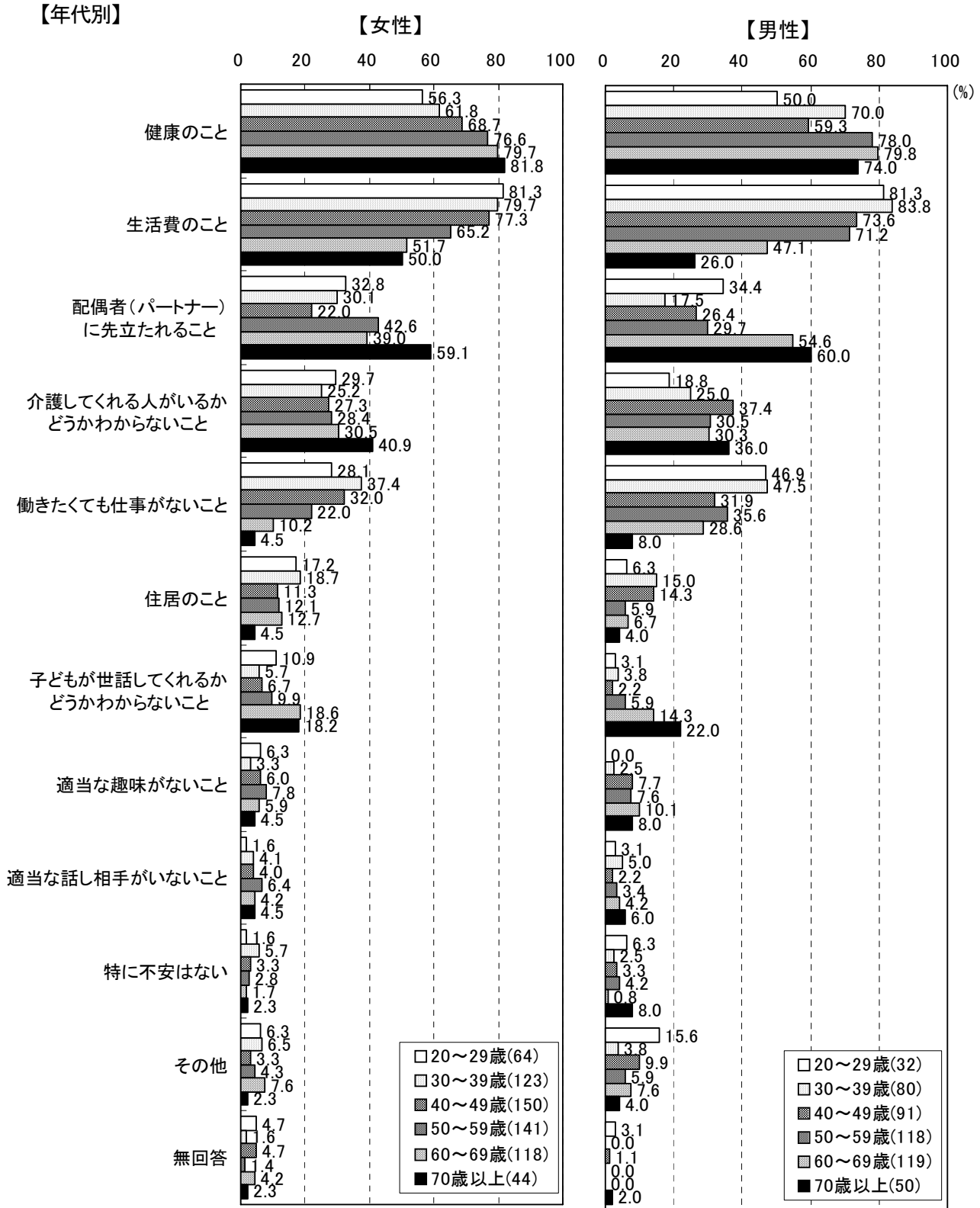
問15. ご自分の老後について、不安に思うことは何ですか。番号三つに○をつけてください。



老後について不安に思うことでは、男女とも『健康のこと』と回答している割合（女性70.8%、男性71.4%）が最も多く、次いで『生活費のこと』（女性68.9%、男性63.9%）、『配偶者(パートナー)に先立たれること』（女性34.8%、男性36.5%）となっており、男女の割合にほとんど差はない。

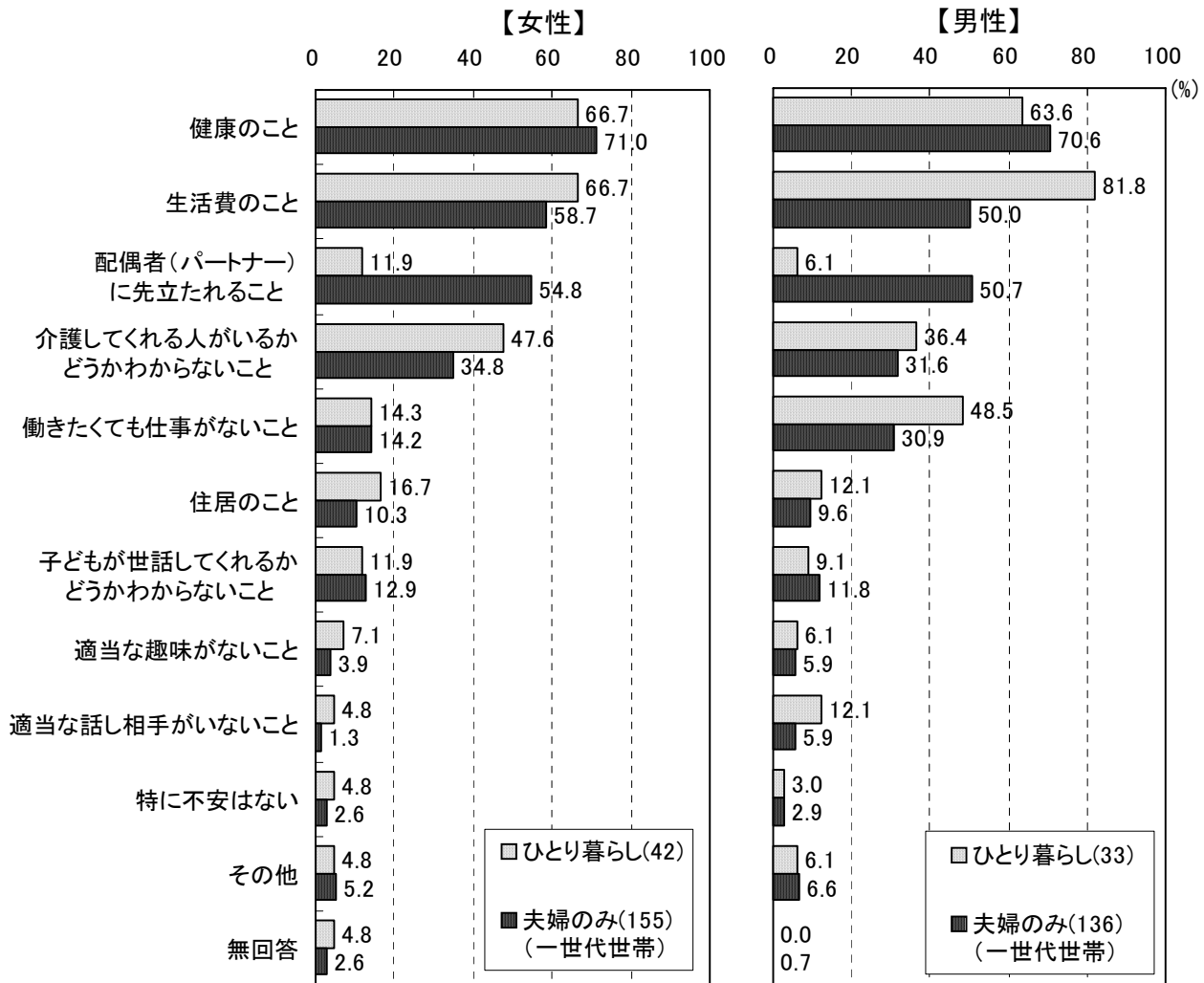
【前回調査(平成16年)との比較】

平成16年に実施した調査と、上位5項目の順位に変化はみられないが、この5項目については、前回の割合より多くなっており、特に『生活費のこと』は16.3ポイント（女性16.1ポイント増、男性16.8ポイント増）と最も増えている。



年代別にみると、『健康のこと』と回答している割合は50代以上の方が高い。『生活費のこと』と回答している割合は、男女とも若い年代ほど高くなる傾向があり、女性では20代(81.3%)、男性では30代(83.8%)で最も高くなっている。

【世帯構成別（ひとり暮らしの状況）】



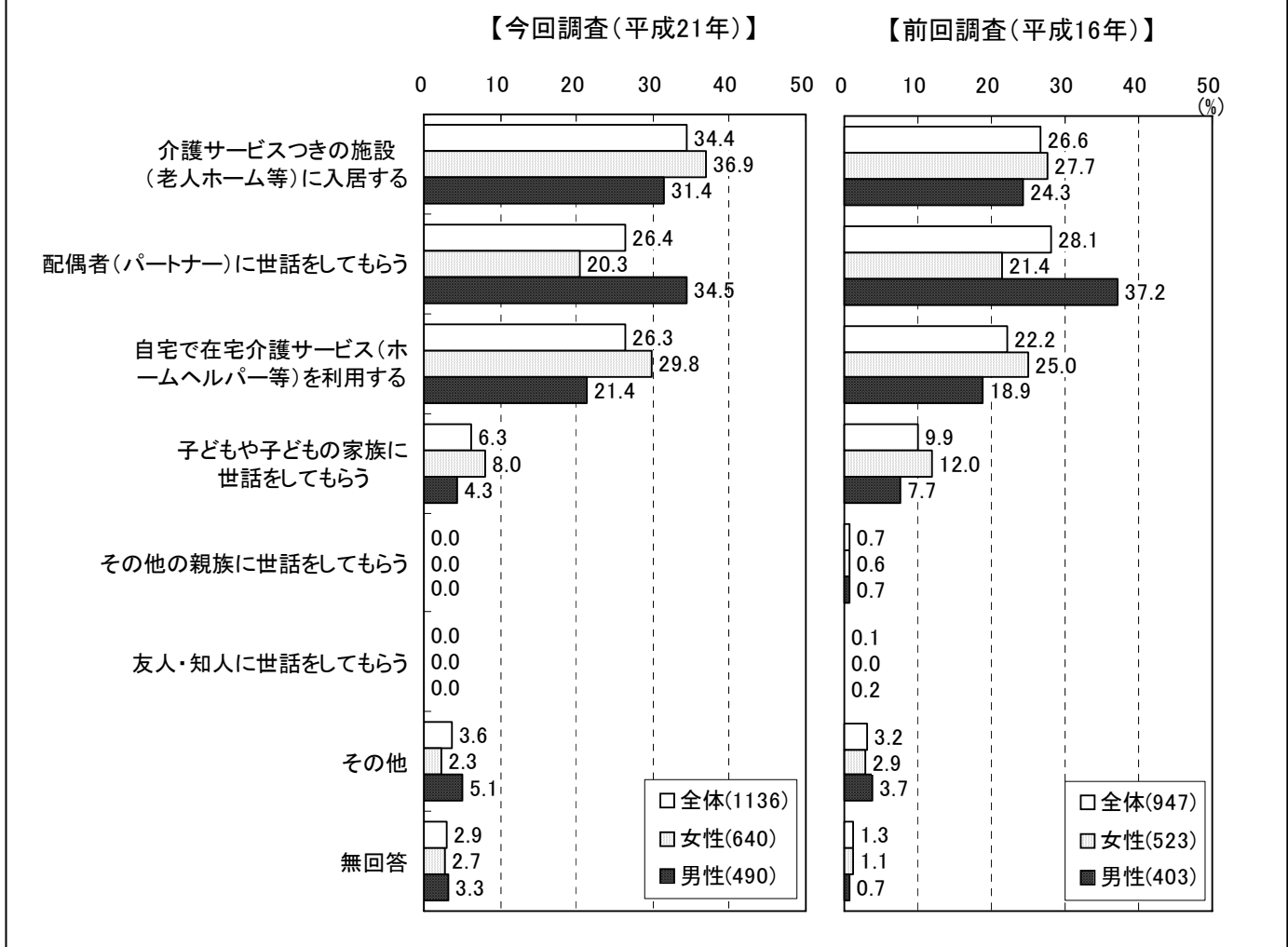
「ひとり暮らし世帯」の女性では、『健康のこと』（66.7%）と『生活費のこと』（66.7%）が一番多く、『介護してくれる人がいるかどうかわからないこと』（47.6%）、『住居のこと』（16.7%）が続いている。男性では『生活費のこと』（81.8%）の次に『健康のこと』（63.6%）、『働きたくても仕事がないこと』（48.5%）、『介護してくれる人がいるかどうかわからないこと』（36.4%）の順となっている。

「夫婦のみ世帯」の女性では、『健康のこと』（71.0%）が一番多く、『生活費のこと』（58.7%）、『配偶者に先立たれること』（54.8%）、『介護してくれる人がいるかどうかわからないこと』（34.8%）が続いている。男性も順位（健康70.6%、生活費50.0%、配偶者に先立たれる50.7%、介護31.6%）は変わらない。

また、男女で差が大きい項目は、『生活費のこと』がひとり暮らしでは、男性（81.8%）が女性（66.7%）を15.1ポイント上回っており、『働きたくても仕事がないこと』は、ひとり暮らしでは、男性（48.5%）が女性（14.3%）を34.2ポイント、夫婦のみでは、男性（30.9%）が女性（14.2%）を16.7ポイント上回っている。

(3) 介護が必要になった時の対応

問16. あなたが、高齢になって、もし介護が必要になった時は主にどうされますか。番号ひとつに○をつけてください。※現在既に介護を受けている方もお答え下さい。



高齢になって介護が必要になった時の対応としては、女性は『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と回答している割合が36.9%と最も高く、次いで『自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する』(29.8%)、『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』(20.3%)となっている。

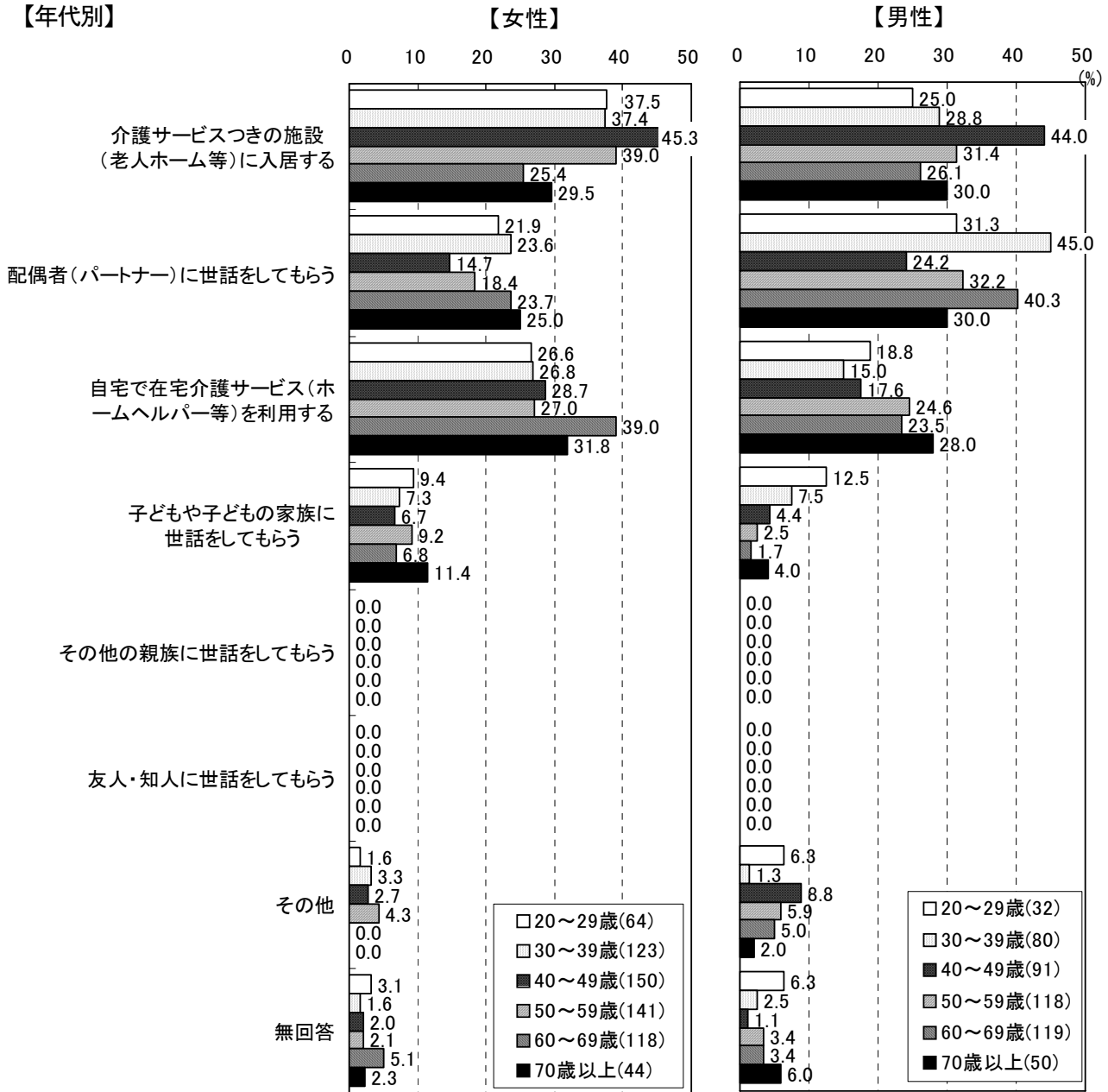
一方、男性は『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』と回答している割合が34.5%と最も高く、次いで『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』(31.4%)、『自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する』(21.4%)となっている。

【前回調査(平成16年)との比較】

平成16年に実施した調査と比較すると、男女の上位3項目の回答割合の順位に変化はみられないが、『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』は、女性で9.2ポイント、男性で7.1ポイント増えている。

※ 平成16年調査では、「介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する」が、「老人ホーム(介護つき)に入る」になっており、「自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する」が、「ホームヘルパー(家事援助者)に世話をしてもらう」になっている。

【年代別】

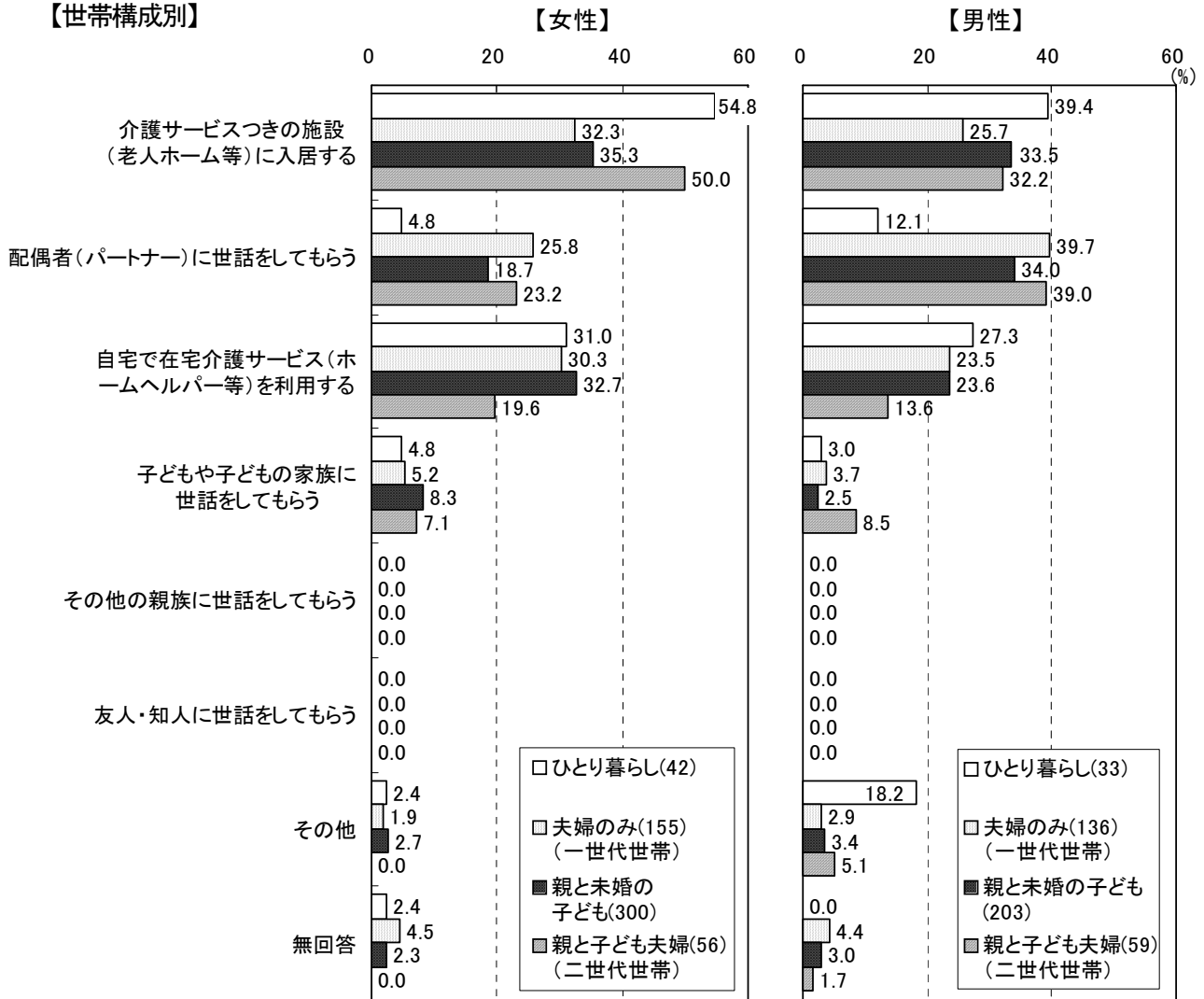


年代別にみると、『介護サービス付きの施設（老人ホーム等）に入居する』と回答している割合は男女とも40代で最も高く（女性45.3%、男性44.0%）、またどの年代でも男性より女性の方が高い。

また、『自宅で在宅介護サービスを利用する』においても、どの年代でも男性より女性の方が高くなっている。一方、『配偶者（パートナー）に世話をしてもらう』では、どの年代も女性より男性の方が高いが、40代では男女とも（女性14.7%、男性24.2%）他の年代より低い。男性の中では30代（45.0%）、60代（40.3%）が特に高い。

また、『子どもや子どもの家族に世話をしてもらう』は、女性では年代による差があまりないのに対し、男性では若い年代ほど高い傾向があり、20代男性が最も高い（12.5%）。

【世帯構成別】



世帯構成別にみると、『介護サービス付きの施設（老人ホーム等）に入居する』と答えているのは、どの世帯でも男性より女性の方が高くなっている。中でも男女とも「ひとり暮らし」の割合（女性54.8%、男性39.4%）は高く、ひとり暮らしの女性はひとり暮らしの男性よりも15.4ポイント高い。また、二世帯世帯においても女性（50.0%）が男性（32.2%）を17.8ポイント上回っている。

『配偶者（パートナー）に世話をしてもらう』と答えているのは、どの世帯でも女性より男性の方が高く、男女とも「夫婦のみ」が最も割合が高い（女性25.8%、男性39.7%）。